

遠い故郷を想う

3月30日、「東京かみのくに会」（倉谷久会長）の総会懇親会が東京都内で開催され、会員など約80人が参加しました。総会では、決算報告や昨年度町に寄贈したカシワの苗などの報告のほか、AEDの寄贈について決議されました。また懇親会では、上ノ国の風景などを映したスライド上映や上ノ国音頭を踊るなど、故郷を懐かしんでおりました。



4年後の再会を夢見て

4月18日、北村地区ひやま漁協サケマスふ化場で鮭の稚魚放流式が行われました。

これは毎年ひやま漁協上ノ国さけ定置網部会（久末正部会長）が、上ノ国へ帰ってくる鮭を増やそうと行われているものです。

例年は神明地区で行われている行事ですが、今年は大雪などの影響によりふ化場で豊漁祈願を行い、その後稚魚は目名川へと放流されました。目名川を下り海に出た稚魚が4年後再び帰ってくるよう、再会を楽しみにしていました。



春の日差しに混じって土の香り

長い冬が終わり、ビニールハウスなどでは作物の収穫や農作業の準備が始まっています。

アスパラガスは3月下旬からハウス栽培による収穫が始まり、新規に栽培を始めた農業者もいました。

サヤエンドウは、すでにハウスでの栽培がおこなわれ、冬期営農講座で得た技術や知識を生かし、地域全体の生産性向上が期待されています。

これらの特産品を栽培される農業者の方からは「たくさんの人においしいと言ってもらえるように頑張りたい」との力強い言葉もあり、今年の農業の始まりと農業者の意気込みが感じられました。



まちをきれいに!

4月21日、「町内クリーンアップ作戦」が実施され、多くの方々が参加しました。

参加者は早朝から回収用ゴミ袋を持ち、沿道に落ちているタバコの吸い殻やペットボトル、海岸線の漂着物など、たくさん

のゴミを回収しました。道路沿いにゴミが多く集中しており、来年は雪解けのあとにゴミがないように、ひとりひとりがゴミを出さないよう気を付け綺麗なまちを目指しましょう。

